

ロジックモデルを利用したがん診療の実態把握に係る適切な評価指標の検討

研究分担者 増田昌人 琉球大学病院がんセンター・特命准教授

研究要旨

ロジックモデルを用いて沖縄県がん計画（沖縄県がん診療連携協議会案）を作成し、沖縄県における拠点病院等における診療の実態把握に係る適切な評価指標を選定した。

アウトカム評価のための指標は、ある程度適切な指標を選定できた。しかし、プロセス指標については、①NDB-SCR、②DPC-QI、③医療従事者調査のいずれも適切な評価指標を選定することに困難を伴った。

研究班全体で作成しているロジックモデルは、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」を基本としているため、ある意味で個別施策が決まっている中での分野アウトカムや中間アウトカムの選定となっており、変則的な作成となっている。今回、作成した沖縄県がん計画はロジックモデルを標準的に用いての作成を行っているため、両者を比較することで、より客観的な指標の選定につながると考えられる。

A. 研究目的

ロジックモデルを用いて、第4次沖縄県がん対策推進計画（以下、沖縄県がん計画）を沖縄県がん診療連携協議会（以下、沖縄県協議会）において作成する。その過程の中で、沖縄県におけるがん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）等における診療の実態把握に係る適切な評価指標を選定する。

B. 研究方法

沖縄県協議会において、ロジックモデルを用いて沖縄県がん計画（沖縄県協議会案）を作成し、沖縄県協議会議長から沖縄県知事に提案する。その過程において、沖縄県における拠点病院等における診療の実態把握に係る適切な評価指標を選定する。

作成においては、沖縄県協議会の下部組織であるベンチマーク部会が取りまとめ役を担当し、他の5つの専門部会から、それぞれ意見を出してもらう。また、患者会からは、それぞれ個別に意見を聞き取り、その意見を沖縄県計画（沖縄県協議会案）に取り入れる。

（倫理面への配慮）

本研究に関しては、個人情報等は取り扱わないので、通常の研究倫理に基づき、研究を遂行した。

C. 研究結果

ロジックモデルは、事業や組織が最終的に目指すことの道筋を体系的に考える方法のことである。通常は、最終的に達成したい状態（最終アウトカム）を

検討し、その上で最終アウトカムを達成するためには何が必要かを考える。そのために、中間アウトカム、初期アウトカム、個別施策を考える。さらに、それぞれに指標を選定することが標準的である。

今回は、この標準的な手法に沿って沖縄県計画（沖縄県協議会案）を作成した。指標の選定については、アウトカム指標としての死亡率、罹患率、5年生存率、患者体験調査結果があり、客観指標と主観指標がある程度は存在した。

しかし、プロセス評価として、医療の質を評価する指標の選定は困難であった。

例えば、National Data Base(NDB) - standardised claim-data ratio(SCR) に関しては、項目は多数存在するが代替指標として最適なものを選び出すことが難しかった。Quality indicator(QI)に関しては、現在はDiagnosis Procedure Combination(DPC)データとリンクした少数のいわゆるDPC-QIの少数のがん種についての少数のデータしか存在しなかった。また、医療従事者に関するアンケート調査は、沖縄県では2015年に行われたのみであり、全国的には秋田県のデータしかなく、全国規模での比較が難しかった。

ストラクチャー評価に関しては、測定できる項目は前述の評価指標よりも多くの項目があげられるが、最適なものを選び出すことが難しかった。

D. 考察

現在、研究班では、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」（以下、指針）に基づいたがん

診療連携拠点病院等における診療の実態把握に係る適切な評価指標の選定に向けて、ロジックモデルを用いての作業を行っている。しかし、既に指針は決まっており、個別施策がある意味で決まった中で分野アウトカムや中間アウトカムの選定は、非常に難しいものとなっている。さらに、評価指標の選定も、今後の困難さが予想される。

今回、原点に戻って、沖縄県がん計画という特定の県ではあるが、いわゆるがん計画を作り、評価指標を選定した。これにより、来年度初めに当研究班で完成予定のロジックモデルと比較することで、よりよい指標の選定に役立てると考えられる。

E. 結論

ロジックモデルを用いて沖縄県がん計画（沖縄県協議会案）を作成し、沖縄県における拠点病院等における診療の実態把握に係る適切な評価指標を選定した。

プロセス指標については、適切な評価指標を選定することに困難を伴った。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし